

様式1 厚木市報道資料		発信日	
 (制度、その他一般等)		令和6年3月19日	
「あつぎ3Dデジタルマップ」の公開について			
1	概要	<p>市内全域の建物・地形の高さや形状などを三次元化し、都市空間そのものをデジタル上で再現した3D都市モデルに、各種ハザード情報などを重ね合わせた「あつぎ3Dデジタルマップ」を4月1日からインターネットで公開します。</p>	
2	目的	<p>平時から市民、事業者、行政が災害リスクを理解し共有するため、デジタル技術の活用により直感的に被害想定を理解することができる3D都市モデルを構築しました。</p> <p>オープンデータとして公開することで、まちづくりのデジタルトランスフォーメーションを推進します。</p>	
3	背景	<p>令和5年3月に策定した「厚木市防災都市づくり計画」における、復興まちづくりの取り組みに当たり、国の「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」の採択事業として整備しました。</p>	
4	PRしたい内容、セールスポイント、前回との違いなど	<ul style="list-style-type: none"> ・3D都市モデルの公開に当たっては、独自の閲覧用ビューアを「あつぎ3Dデジタルマップ」として整備し、誰でもインターネット上で被害想定を直感的に理解できる構成としています。 ・今回整備したデータは、デジタル・インフラとして国土交通省のサイト「Project PLATEAU (プラトー)」を通じて公開され、まちづくりの分析やシミュレーションなど、商用利用も含めた幅広い利活用が可能になります。 	
5	予算	25,234,000円（うち1/2は国庫補助金）	
6	他市の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県内5市町で3D都市モデルを整備済 ・独自の市民向け閲覧ビューアの整備は県内初 	
7	添付資料	あつぎ3Dデジタルマップ概要	
8	本資料の問合せ先	部課名	まちづくり計画部 都市計画課（課長 高坂 英登）
		電話	(046) 225-2406

～市内の災害リスクを三次元で“見える化”～
あつぎ3Dデジタルマップを公開
まちづくりのDXを推進します。

厚木市では、市内全域の建物・地形の高さや形状などを三次元化し、都市空間そのものをデジタル上で再現した“3D都市モデル”に、各種ハザード情報等を重ね合わせた「あつぎ3Dデジタルマップ」を公開します。

1 3D都市モデルとは

市が保有する都市計画基本図、都市計画基礎調査及び航空写真のデータにより、市全域の建築物を立体化し、構築したものです。

本市では、国の「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」の令和5年度採択事業として、各種ハザード情報を備えた3D都市モデルを整備しました。

本事業により整備したデータは、まちづくりのデジタル・インフラとして、国土交通省の「Project PLATEAU（プラトー）」を通じてオープンデータ化され、まちづくりの分析やシミュレーションなど、商用利用も含めた幅広い利活用が可能になります。

2 あつぎ3Dデジタルマップについて

3D都市モデルを市民の皆様に公開するため独自に構築した閲覧用サイト（マップビューア）で、誰もがインターネット上で各種災害による被害想定を直感的に理解できる構成としています。

(1) 3D都市モデル

市内の全ての建物を三次元で閲覧できます。また、本厚木駅周辺、愛甲石田駅周辺は建物をより実空間に近い状態で再現しています。

(2) 災害リスク情報

洪水、土砂災害、地震など、市内で想定される災害リスク等を三次元で確認できます。

(3) 走行ビッグデータ情報

令和5年度に実施した走行ビッグデータの解析結果を地図上で確認できます。

3 公開日

令和6年4月1日（月）厚木市ホームページにリンクを開設

4 今後の取組について

市内の被災想定や復興について理解を深めてもらうための「復興まちづくり訓練」を始め、市民の防災意識の向上や避難計画の作成などへの活用を予定しています。

また、3D都市モデルは様々なデータと組み合わせることで、まちづくりを始め、防災、観光、交通、環境等、多様な分野でのシミュレーションや分析が可能になることから、今後、民間企業や大学等と連携した取り組みについても検討していきます。

あつぎ3Dデジタルマップ 画面イメージ

■ 本厚木駅周辺



■ 浸水想定区域及び土砂災害（特別）警戒区域



■ 液状化分布

